

山口

(茨城)同

田沼實

石川

(沖繩)同

木村儀四郎

福岡

(福島)同

後藤季總

鳥取

(三重)同

豐田勝藏

補(頭書)府縣土木部長

岐阜

(兵庫)同

長澤忠郎

島根

(秋田)同

佐藤東次郎

富山

(神奈川)同

野坂相如

徳島

(神奈川)同

廣長良一

長崎

(高知)同

今泉佳三郎

愛媛

(滋賀)同

三宅秀太

群馬

(石川)同

中村滿輔

高知

(富山)同

西東慶治

茨城

(青森)同

叶儀

佐賀

(京都)同

八木三男

山梨

(東京)同

大岡禮三

熊本

(長崎)同

佐々木銚

滋賀

(鳥取)同

高木季雄

宮崎

(佐賀)同

古賀久六

青森

(福島)同

高橋經徳

沖繩

(山口)同

久保田秀雄

秋田

(静岡)同

吉良巖

(頭書)府縣土木課長ヲ命ス

土木出張所庶務部長事務打合せ會議開かる

生

内務省國土局に於いては十一月二十日戦時下幾多の重要なる土木事業を直轄施行してゐる各土木出張所、神宮關係施設營造所、土木試験所の庶務部長を召集して別記の議題につき夫々指示をな

し又種々意見を聴取する所があつた。局側より新居局長、鈴木披監、宇佐美總務課長、其の他各課長、關係事務官、技師等出席午前九時開會せられ劈頭先づ新居局長より左の如き重要なる訓示が

與へられた。

訓示要旨

會議ノ初メニ於キマシテ一言御挨拶申上ゲ度イト存ジマス。
昨年十二月八日對米英戰爭宣戰ノ大詔ヲ拜シマシテヨリ茲ニ一ケ年、大御稜威ノ下我ガ忠勇ナル陸海將兵ノ善謀力戰ニ依リ緒戰以來今日ニ至ルマデ連戰連勝史上稀ニ見ル赫々タル大戦果ヲ擧ゲツツアリマスコトハ洵ニ御同慶ニ堪ヘナイ所デアリマシテ諸君ト共ニ深ク皇軍將兵ノ奮戦力闘ニ對シ感謝ノ意ヲ表スルト共ニ戰歿セラレタル幾多ノ英靈ニ對シ衷心ヨリ哀悼ノ誠ヲ捧ゲ度イト存ズルノデアリマス。

併シ乍ラ敵ハ物資力豊富ニシテ而モ最近頗ルニ軍需生産力ヲ昂揚シツツアル米英デアリマスノデ、戰ハ必然長期戦トナリ而モ前途ニ多大ノ困難ガ豫想セララルノデアリマス。從ヒマシテ此ノ困難ナル大戦争ヲ戰ヒ抜キ大東亞共榮圈建設ノ大業ヲ完遂センガ爲ニハ國內諸體制ノ徹底的整備強化ヲ期スルコトガ必要デアリマシテ政府ニ於カレテモ此ノ爲行政一般ニ對シ劃期的ナル簡素強力化ヲ斷行シ本月一日ヨリ其ノ實施ヲ見ツツアルノデアリマシテ土木行政ノ機構ニ就イテモ一部其ノ改革ヲ加ヘラレ相當多數ノ職員減員ヲ實現致シタノデアリマスガ一面又土木事業ニ必要ナル物資並ニ勞力ニ於イテモ益々緊迫ノ度ヲ加ヘ茲暫クハ之ガ充分ナル供給ハ到底望ミ得ザル現況ニ在ルノデアリマス。

惟フニ土木事業ハ戰時體制ヲ確立シ戦力ヲ増強スル爲ニ必要ナル生産力ノ擴充、輸送力ノ増強ヲ始メトシ、戰時下國民生活確保ノ基礎的要件ヲ爲スモノデアリ昨今益々其ノ緊要ノ度ヲ加ヘツツアルノデアリマスガ上述ノ如キ職員ノ減員、物資並ニ勞力ノ緊迫ニ伴ヒ今後事業ノ遂行ニハ幾多ノ困難アルヲ覺悟セネバナラヌノデアリマス。諸君ハ深ク思フ茲ニ致シ能ク上司ヲ輔佐シ同僚相輔部下ヲ督勵シテ此ノ際一層ノ挺身報國ノ精神ヲ振起シ、限ラレタル資材及職員ヲ以ツテ最高ノ能率ヲ擧ゲベク、創意ト工夫ヲ凝ラシ之ガ重點的、效率的活用ヲ爲シ以ツテ凡ユル惡條件ヲ克服シ戰時下土木行政ノ使命達成ニ盡力セラレ度イノデアリマス。

以上ハ所懷ノ一端ヲ申述ベタノデアリマスガ、當面ノ諸問題ニ付イテハ別ニ指示打合せ致ス所ガアリマスカラ、諸君ハ之等ニ付イテ充分御協議願ヒ以ツテ今回ノ打合せ會議ヲシテ效果アラシメテ戴キ度イト存ズル次第デアリマス。

局長の訓示終つて宇佐美總務課長より議題となれる、「戦時下土木工事ノ施行ニ關スル件」、「行政簡素化ニ關スル件」、「資材船舶器具機械等ニ關スル件」に關シ詳細説明する所あり、即ち現在直轄工事として施行しつゝある土木工事は何れも戦争遂行上緊要なるを以つて從來より一層國土局と土木出張所とが一體となつて工事を遂行することを必要とする。特に三ヶ年を以つて工事の完成を期

することとなるる重點的の工事は其の遂行にあらゆる工夫と努力
とを拂はれたし。又資材及勞務の入手には格段の熱意と努力とを
集中し且つ有效適切に之を使用すること。器具機械は軍隊に於け
る兵器なるを以つて之が取扱に意を用ふることは勿論各現場間の
融通轉用を圓滑ならしむること、行政簡素化により來年度に於い
ては相當數の減員を餘儀なくされるにより豫め之が對策に付攻究
し置くこと等を要望し平和時代に於ける一切の考へ方を清算し精
神力を發揮してあらゆる困難を克服し以つて戰爭完遂の爲めに粉
骨碎身御奉公を爲すべき旨を強調し且つ局長の訓示並右議題に於
ける指示方針が部内隅々にまで徹底することを強く要求された。

次いで殘餘の議題に付關係課長より説明する所あり、終つて自
由討論に移し各庶務部長より土木出張所に於ける實情並之が改革
に付腹藏なき意見の開陳あり、採用すべきものについては本省に
於いても充分攻究する旨の答辯あつて懇談の後午後四時閉會とな
つた。

土木出張所庶務部長等事務打合せ會議題

- 一、戰時下土木工事ノ施行ニ關スル件
- 二、政行簡素化ニ關スル件
- 三、資材船舶器具機械等ニ關スル件
- 四、工業規制地域地先埋立ニ關スル件
- 五、港務協議會ニ關スル件
- 六、土木共濟組合ニ關スル件

◎若葉吟社詠草

柳散る窓べ日向や讀み耽る 藝
 一もとの菊薫りけり暮茶房 同
 秋庭の破れ扉寂びて一軒家 同
 よく出來し名殘の菊や父の顔 靜
 月の中に柳散り數く風の街 同
 神酒を酌む父の笑顔や秋和む 同
 手作りの茄子うらぶれて秋の庭 靜
 柳散る舗道明るし人絶えて 風
 さを鹿の鳴き交はしけり朝の苑 同
 鹿寄せてカメラに晴るゝ奈良の旅 露
 蟪蛄のまだ生きてあり秋の庭 同
 春秋を菊に仕へて長き髯 同
 水に揺るゝ古城の影や柳散る 同
 柳散る風の銀座や靴磨き 野狐禪
 陶榻に石の棋盤や秋の庭 同